

2014(平成26)年度事業報告 附属明細書

自 2014(平成26)年4月
至 2015(平成27)年3月

公益財団法人 日中医学協会

目 次

日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト	1
常任理事会（業務執行理事会）	2
委員会委員	3

事業報告

ア 研究助成事業	
1. 日中笹川医学奨学金制度	5
1) 第36期研究者受入事業	
2) 第37期研究者募集及び選考	
2. 共同研究等助成事業	6
1) 2014年度共同研究等助成金受給者	
2) 2015年度共同研究等助成事業選考	
3. 中国人医師・研究者招請事業	8
イ 学術会議開催事業	
1. 主催事業	9
1) 日中医学交流会議	
2) 日本留学経験者交流会	
2. 共催・後援事業	9
1) 日中笹川医学協力プロジェクト：学術交流会（共催）	
2) 2014年度医学生のための漢方医学セミナー（後援）	
3) その他の共催・後援事業	
ウ 日中医療協力事業	
1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業	10
2. 経済産業省の医療の国際化に係わる事業	14
3. 専門家派遣事業	15
4. 医療関連訪日者招請事業	15
5. 訪中団派遣事業	16
6. 日中乳幼児栄養交流事業	16
エ 広報事業	
1. 機関誌『日中医学』の発行	17
2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行	17
3. 中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』のメール配信	17
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	17

委員会開催報告

1. 共同研究等助成事業委員会	17
2. 医療協力事業運営委員会	17
3. 広報委員会	18

総務報告

I. 財務基盤の拡充について	
A. 会員拡大と募金活動	19
B. 日本財団に対する助成金申請	19
C. その他事業の検討	19
II. 協会運営に係る事項	
A. 委員会の改廃及び名称変更	20
B. 公益事業の拡充に係わる検討	21
III. 協会設立30周年記念事業	21

別紙 日中笹川医学奨学金制度第36期研究者名簿

別紙 役員等名簿

中国人医師・研究者招請事業

——日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクトの協定

1. 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修パイロットプロジェクト第1期協定

2015年2月26日付、日中医学協会と中国国家衛生和計画生育委員会国際交流センターとの間で協定書を調印した。

1) 目的

中国における消化器内視鏡分野と病理学分野の連携における学術的な開拓人材となりうる内視鏡専門医と病理専門医及び内視鏡領域と病理領域の緊密な連携を促進する意思のある診療科及び病院の管理責任者を組織して訪日団として派遣し、日本で研修することにより、先進医療技術及び消化器内視鏡専門医と病理専門医の緊密な連携に関する理念と実践を理解し、自己の職場における実践に活かし、消化器内視鏡専門医と病理専門医との連携レベルを強化させることにより、消化器早期がん診断能力向上を達成し、両国の当該分野における交流と協力を促進することを目的とする。

2) 実施期間

2014年10月～2017年9月

第1期 2014年10月至2015年03月

実施予定

第2期 2015年09月至2016年03月

第3期 2016年04月至2016年09月

第4期 2016年10月至2017年03月

第5期 2017年04月至2017年09月

3) 募集人数・研修期間・研修先

人数：第1期10名（目的を達成するために、1医療機関5名）

研修期間：1か月間（診療科及び病院管理責任者は1週間以内）

研修先：国立がん研究センター中央病院（東京都）

順天堂大学医学部附属順天堂医院（東京都）

東邦大学医療センター大森病院（東京都）

がん研究会有明病院（東京都）

北里大学病院（神奈川県）

国立がん研究センター東病院（千葉県）

静岡県立静岡がんセンター（静岡県）等

※申請者の研修先は、申請書の内容に基づき、日本側実施機関が決定する。研修先は1か所とし、研修先を変更することはできない。

4) 募集

対象者：消化器内視鏡専門医、病理専門医（来日時満45歳以下）、消化器内視鏡と病理に関連する診療科及び病院の主管責任者（来日時満55歳以下）

募集方法：公募、専門学会の推薦及び自主応募

5) 選考方法

第一次選考：中国側選考委員による書類選考・中国側専門家による面接

第二次選考：日本側選考委員による研修先選定を含む最終書類選考

2. 寄附契約の締結

日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクトの実施につき、事業趣意に賛同いただいた奥林巴斯（北京）銷售服務公司与日中医学協会との間で寄附契約を締結した（2015年2月1日）。

寄附契約の締結にあたっては、中国医師の研修受入れに伴う外国公務員への贈収賄防止法令遵守の観点から法律調査（弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所）を実施した。

常任理事会（業務執行理事会）の開催

開催年月日	議事事項	会議の結果
2014. 07. 04	公益第5回（第238回）常任理事会 ○（仮称）日中消化器内視鏡診断治療指導医育成プロジェクト及び特定寄附金の受入について ○ 寄附金等取扱規程の改訂について ○ 協会のリスク管理に係わる事項の検討 ①定款変更（案）について ②役員等の確認書（誓約書）について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2014. 10. 16	公益第6回（第239回）常任理事会 ○ 役員等・委員会委員の任期と改選の方向性について ○ 日中医学協会のあり方検討委員会における検討－外部リリース資料－について ○ 日中医学協会設立30周年記念事業について ○ 寄附金募集について ○ 規程の改訂について ①定款変更案 ②会員規程変更案 ○ 日本財団に対する2015年度助成事業予算申請について ○ 2015年度共同研究等助成事業の実施について ○ 2015年度事業計画の策定について ○ その他－業務の適性を確保するための体制等の整備について（課題提起）	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2014. 12. 18	公益第7回（第240回）常任理事会 ○ 監事の立場から－「内部統制システム」について ○ 委員会のあり方について－委員会意見の聴取 ○ 2015年度事業計画の策定方針について ○ 役員等・委員会委員の改選について ○ 日中医学協会のあり方検討委員会における検討について ○ 日中医学協会設立30周年記念事業について ○ 日中医学協会設立30周年記念事業に向けた寄附金募金について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中国国家級公衆衛生政策計画管理プロジェクトにおける研修受け入れについて ○ オリンパス(株)からの打診について ○ 役員会開催スケジュールについて ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東レ(株)の中国における透析サービス事業について ・ 第2回日中医学交流フォーラムについて ・ 日中笹川医学奨学金第37期研究者決定について ・ 日中消化器内視鏡診断治療指導医育成プロジェクト ・ 中日友好医院からの協力事業提案 	<p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p>
2015. 02. 26	<p>公益第8回（第241回）常任理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2015年度共同研究等助成事業助成金受給者選考結果について ○ 中日友好病院からの協力プロジェクト提案について ○ 第6回理事会の議案について 	<p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p> <p>全員一致了承</p>

2014年度委員会委員

1. 共同研究等助成事業委員会

- 委員長 武藤徹一郎 理事、（がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長）
- 副委員長 跡見 裕（杏林大学学長）
- 委員 五十嵐正広（がん研究会有明病院内視鏡診療部部长）
- 今井 裕（獨協医科大学医学部教授、日本歯科医学会副会長）
- 金井 Pak 雅子（東京有明医療大学看護学部看護学科長）
- 杉山 清 評議員、（星薬科大学副学長）
- 菅村 和夫（宮城県立病院機構理事長）
- 高本 眞一（三井記念病院院長）
- 松村 英雄（日本大学歯学部教授、日本歯科医学会副会長）
- 御子柴克彦（理化学研究所脳科学総合研究センター シニア・チームリーダー）
- 安原 眞人（東京医科歯科大学医学部附属病院薬剤部部长）
- 渡辺 純夫（順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学教授）
- 渡邊 治雄（国立感染症研究所所長）
- 渡邊 善照（昭和薬科大学薬剤学教授）
- 担当理事 田平 武 業務執行理事、（順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学客員教授）

2. 医療協力事業運営委員会

- 委員長 江藤 一洋 業務執行理事、（アジアデンタルフォーラム理事長、MEJ 理事）
- 副委員長 酒谷 薫 業務執行理事、（日本大学工学部／日本大学医学部教授）
- 委員 岡野 友宏（昭和大学名誉教授、アジアデンタルフォーラム専務理事）

田平 武 業務執行理事、(順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学客員教授)
林 謙治 業務執行理事、(国立保健医療科学院名誉院長)
日比 紀文 理事、(北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター長)
平岡 眞寛 理事、(京都大学大学院医学研究科放射線医学教授)

3. 広報委員会

委員長 丸 義朗 (東京女子医科大学医学部薬理学主任教授)
副委員長 緒方 剛 評議員、(茨城県筑西保健所所長)
委員 飯塚 陽子 (東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科助教)
小澤 邦壽 (群馬県衛生環境研究所所長)
笠原 正貴 (東京歯科大学薬理学主任教授)
新谷 誠康 (東京歯科大学小児歯科学主任教授)
範 江林 評議員、(山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学教授)
矢富 裕 (東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学教授)
山田 陽城 評議員、(東京薬科大学薬学部和漢薬物学特任教授)
輪湖 史子 (日本看護協会国際部部長)
担当理事 林 謙治 業務執行理事、(国立保健医療科学院名誉院長)

事業報告の明細

ア 研究助成事業

1. 日中笹川医学奨学金制度

2013年5月17日、日本財団尾形武寿理事長と中国国家衛生和計画生育委員会馬曉偉副主任により調印された「日中笹川医学協力プロジェクト協定」により「第4次日中笹川医学奨学金制度」としてスタートした。実施・運営は、当協会と笹川医学奨学金進修生同学会が担う。

1) 第36期研究者受入事業

(1) 来日

2013年11月からの募集及び2014年1月の選考を経て、第36期研究者6名が2014年5月13日に来日した(名簿後掲)。

(2) 歓迎式典の開催

開催日：2014年5月14日(水) 16:00～19:30

場 所：日本財団ビル 第1～2会議室

出席者：第36期研究者 6名

指導教官・日本財団・笹川記念保健協力財団・協会の役員・委員、笹川同学会等 36名(中国から笹川同学会の趙 群/理事長・10期生、李忠金/秘書長・12期生、許 順/副秘書長・15期生が出席した)

概 要：本制度研究者認定書を授与した。

翌日、研究者は各自の研究先へ移動し、研究を開始した。

(3) 第26回研究者セミナーの開催

開催日：2014年9月25日(木)～27日(土)

場 所：日本財団ビル 第8会議室

出席者：第36期研究者 6名

日本財団・笹川記念保健協力財団・協会の役員・委員、笹川同学会等 20名(中国から笹川同学会の李忠金

/秘書長・12期生、陳 欣/北京積水潭医院副教授・18期生、徐曉洲/中国医学科学院肿瘤医院副主任醫師・22期生が出席した)

概 要：第一部では、研究者一人一人が自身の研究面・生活面についてPPTにより日本語と中国語で発表した。第二部では、医療協力事業運営委員会と第36期生との座談会を行った(事前に調査したアンケート結果をもとに実施)。

セミナー終了後、医療施設/テルモメディカルプラネックス、ピースハウス病院、静岡県立静岡がんセンターを参観し、日本の医療について知見を深めた(26日)。

(4) 研究報告会・研究修了式の開催

開催日：2015年4月30日(木) 16:00～19:30

場 所：日本財団ビル 第1～4会議室

2) 第37期研究者募集及び選考

2015年4月に来日する第37期研究者を選抜した。

(1) 募集

第37期研究者の募集は、中国国家衛生和計画生育委員会弁公庁名で中国各省衛生庁宛通知され、2014年7月14日～10月15日に行われた。

(2) 選考

開催日：2014年10月18日(土)

場 所：亮馬河飯店(北京市)

選考員：江藤一洋(業務執行理事)

林 謙治(業務執行理事)

韓 晶岩(北京大学教授、9期生)

陳 欣(北京積水潭医院副教授、18期生)

太田晶子事業担当と李忠金同学会秘書長が同席した。

内 容：第一次選考(中国側書類選考)で選抜された11名の内、9名が面接試験(第二次選考)を受けた。面接試験

は、候補者が得意とする言語（英語または日本語）で行い、仕事/業績・成果等（20点満点）、研究/目的の明確性、将来性等（20点満点）、語学能力/聴力・会話力等（50点満点）、協調性（10点満点）で評価し、9名全員が選考基準を満たした。

(3) 来日前実施事業

ア) 日本語研修（同学会主催）

期 間：2014年11月11日(火)～2015年1月10日(土)

場 所：中国医科大学外国語研修センター
(遼寧省瀋陽市)

イ) オリエンテーション（協会主催）

期 間：2014年12月30日(火)

場 所：中国医科大学外国語研修センター
(遼寧省瀋陽市)

概 要：来日に向けての準備や日本滞在期間中の事項等について、協会職員の李高娃事業担当がオリエンテーションを行った。

2. 共同研究等助成事業

1) 2014年度共同研究等助成金受給者

2014年度は助成対象分野を臨床/社会/看護・歯学系とした。

(1) 調査・共同研究助成 6件

臨床系

- ① 佐野 元昭：慶応義塾大学医学部循環器内科准教授
研究テーマ：「免疫老化が加齢性疾患に及ぼす影響の解明」
共同研究者：陸 林
上海交通大学医学院附属瑞金医院心臓内科教授
- ② 大須賀 穰：東京大学医学部産科婦人科教授
研究テーマ：「小胞体ストレス応答の卵胞発

育・成熟過程における意義の解明と良好胚選択マーカーとしての有用性の検討」

共同研究者：趙 琳

大連医科大学附属第二病院産婦人科教授

- ③ 詹 紅：東京大学附属病院循環器内科特任研究員

研究テーマ：「大動脈瘤・解離の発症・進展における Kruppel-like factor5 (KLF5) の役割の解明と治療戦略の開発」

共同研究者：鄭 斌

河北医科大学血管生物学教授

社会系

- ① 戸塚ゆ加里：国立がん研究センター研究所発がんシステム研究分野ユニット長
研究テーマ：「中国の食道・噴門部胃がん多発地域における DNA 付加体の網羅解析と発症要因の探索」
共同研究者：魏文強
中国協和医科大学中国医学科学院腫瘍研究所がん疫学教授
- ② 新添 多聞：京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門研究員
研究テーマ：「PM_{2.5} に対するヒト曝露評価モデルの開発」
共同研究者：王自発
中国科学院大気物理学研究所教授

看護/歯学系

- ① カルテナス暁東：大阪医科大学看護学部講師
研究テーマ：「日中における 2 型糖尿病患者の治療効果と QOL を高める『ファミリーパートナーシップ』看護援助システムの構築」
共同研究者：石貞仙
山西省人民医院看護部部長

(2) 若手在留中国人研究者助成 2 件

臨床系

- ① 任 乾：千葉大学社会精神保健教育研究センター大学院生
研究テーマ：「精神疾患の病態解明と新規治療法の開発に関する研究」
指導責任者：橋本謙二
千葉大学社会精神保健教育研究センター教授

科学センター次世代重粒子治療プログラム主任研究員
研究テーマ：「重粒子と分子標的薬 Lapatinib や Pertuzumab との併用による乳癌幹細胞殺傷効果」
共同研究者：于 冬
蘇州大学放射線医学防護学院教授

- ③ 貫名 信行：順天堂大学大学院医学研究科神経変性疾患病態治療探索講座客員教授

研究テーマ：「神経変性におけるタンパク質凝集の制御機構の解明」
共同研究者：王 光輝
蘇州大学薬理学講座教授

社会/看護・歯学系

- ① 廖 文：大阪歯科大学歯科矯正学講座大学院生
研究テーマ：「In Vitro ヒト歯根膜様組織に対する至適矯正力の探索」
指導責任者：松本尚之
大阪歯科大学歯科矯正学講座主任教授

- ④ 余 福勳：長崎大学熱帯医学研究所ウイルス学助教
研究テーマ：「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 迅速診断試薬の開発」
共同研究者：許 汴利

2) 2015 年度共同研究等助成事業選考

2015 年度は助成対象分野を基礎医学/薬学系とした。

河南省疾病予防控センター主任医師・教授

- ⑤ 小室 一成 東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授

研究テーマ：「食塩感受性高血圧の発症における炎症細胞の役割」
共同研究者：鄒 雲增
復旦大学附属中山医院上海市心血管研究所教授

(1) 調査・共同研究助成 6 件

共同研究等助成事業委員会の選考 (2015 年 2 月 26 日、p. 16 参照) により、基礎医学系 5 件/23 件、薬学系 1 件/5 件、計 6 件を採択した (分母は応募件数)。

基礎医学系

- ① 成相 直：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科准教授
研究テーマ：「日中のもやもや病多発家系における全エクソーム解析による人種差を超えた真の病因遺伝子の探索」
共同研究者：段 煉
中国人民解放軍 307 医院脳血管センター脳神経外科教授

薬学系

- ① 寺坂 和祥 名古屋市大学大学院薬学研究科生薬学講師
研究テーマ：「ウスバサイシンにおけるアリストロキア酸の蓄積機構の解明」
共同研究者：袁 丹
瀋陽薬科大学中薬学院教授

- ② 崔 星：放射線総合医学研究所重粒子医

調査・共同研究助成補欠

- ① 稲垣 善則：東京大学医学部附属病院人工臓器移植外科助教

研究テーマ：「チベット天然薬物鎌形棘豆による抗腫瘍効果誘導メカニズムの解明」

共同研究者：童 麗
青海大学医学院中蔵薬研究センター教授

(2) 若手在留中国人研究者助成 2件

共同研究等助成事業委員会の選考により、基礎医学系 2件/17件、薬学系 0件/5件、計 2件を採択した（分母は応募件数）。

基礎医学系

- ① 夏 巨峰：東京大学大学院医学研究科
臓器病態外科学講座大学院生
研究テーマ：「肝細胞癌における漢方薬
Cinobufacini 及び doxorubicin
併用投与有効性の検証」
指導責任者：国土 典宏
東京大学大学院医学研究科臓器
病態外科学講座主任教授
- ② 駱 予倩：国立感染症研究所
ハンセン病研究センター
感染制御部第 8 室研究生
研究テーマ：「らい菌のマクロファージ内寄
生分子機構における peroxisome
proliferator-activated
receptors (PPARs) シグナルの
関与」
指導責任者：鈴木 幸一
国立感染症研究所
ハンセン病研究センター
感染制御部第 8 室室長

若手在留中国人研究者助成補欠

- ① 楊 志友：富山大学和漢医薬学総合研究所
神経機能学分野大学院生
研究テーマ：「骨碎補のアルツハイマー病治
療作用の解明」
指導責任者：東田 千尋

富山大学和漢医薬学総合研究所
神経機能学分野准教授

3. 中国人医師・研究者招聘事業

中国国家衛生和計画生育委員会国際交流センターとの第 1 期協定書締結により、「日中内視鏡診断治療・病理合同研修パイロットプロジェクト」を実施した（p.1 参照）。

第 1 期研修生招聘

招聘期間：2015 年 2 月 25 日(木)～3 月 27 日(金)

被招聘者及び指導教官：

- 1) 李光春 山東大学第二医院消化内視科医師
指導教官：小野裕之
静岡県立静岡がんセンター
内視鏡科部長
- 2) 管冰心 山東大学第二医院病理科医師
指導教官：中島 孝
静岡県立静岡がんセンター
病理診断科部長
- 3) 楊 天 南京大学鼓楼医院消化内視科医師
指導教官：渡辺純夫
順天堂大学医学部消化器内科
主任教授
- 4) 孫 琦 南京大学鼓楼医院病理科医師
指導教官：八尾隆史
順天堂大学医学部人体病理病態学
教授

イ 学術会議開催事業

1. 主催事業

1) 日中医学交流会議

当年度は実施しなかった。本会議は 1987 年以來の伝統的な事業であり、「日中医学協会のあり方検討委員会」により新たな展開が検討されている。

2) 日本留学経験者交流会

2014 年 11 月 2 日(日)、中国・上海市に於いて大阪大学医学部附属病院未来開発部国際医療センターの国際シンポジウム「Go Global14」(文部科学省推進事業)と合同で日本の産官学における医療の国際展開の取り組みをテーマとした講演会を開催し、当協会法人会員をはじめとする現地企業 65 社と日本留学経験をもつ医療従事者、日本人留学生等、197 名が参加した。講演会終了後に開催したネットワーキング(情報・名刺交換会)では、企業と日本留学経験者が名刺交換する場面が会場の至る所で見られた。これを機に、企業と日本留学経験者のネットワークが今後さらに深まっていくことを期待する。

(p.14 (2)「日本留学経験者交流会の開催」参照)

2. 共催・後援事業

1) 日中笹川医学協力プロジェクト：学術交流会

【共催事業】

2014 年 9 月 13 日(土)、中国・北京市に於いて笹川医学奨学金進修生同学会会員代表大会(学術交流会)が開催され、同学会理事、同学会北京会員、中国国家衛生和計画生育委員会、日本財団等 117 名が出席した。本大会で北米支部設立宣言が行われ、同学会支部は中国国内 6 支部、日本支部、北米支部の計 8 支部となった。同学会の活動のグローバル化が進展され、同学会のさらなる活性化が期待される。

(p.13 3)「会員代表大会(学術交流会)の開催」参照)

2) 2014 年度医学生のための漢方医学セミナー

【後援事業】

開催日：2014 年 8 月 5 日(火)～8 月 10 日(日)
場 所：里湯昔話 雄山荘(滋賀県大津市)

主 催：小太郎漢方製薬株式会社

後 援：日中医学協会、日本 TCM 研究所、
天津中医学院

参加者：講演者 18 名、受講生 25 名

3) その他の共催・後援事業

中国留日学人・先端科学と未来産業技術討論会

【後援事業】

開催日：2015 年 3 月 15 日(日)

場 所：大阪大学豊中キャンパス
理学研究科 D 棟 D501 室

主 催：留日中国人生命科学協会、
大阪大学中国留学生学友会

共 催：中国留日同学会、京都大学中国留学生学友会、
京都大学中国留学者学術交流会

後 援：日中医学協会、中国駐大阪総領事館
教育室、西日本新華僑歌人联合会、
関西中華総商会等

参加者：50 名

招待講演：

- ① 「先端医療設備の市場と技術」
唐沢湘輝 湘栄ジャパン(株)社長
- ② 「シングルセル技術の現状と未来展望」
于 涛 アズワン(株)
- ③ 「最先端のがん免疫治療技術」
佐久間貞俊 (株)細胞治療技術研究所
サイティクス社長

ウ 医療協力事業

1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業（笹川同学会事業）

1) 中国国内研修事業

(1) 短期総合診療研修

・中国医科大学（瀋陽市）

期 間：2014年9月1日(月)～30日(火)

受講者：24名

河北省・甘粛省・新疆ウイグル自治区・寧夏回族自治区・河南省・青海省の二級病院に勤務する医師

研修内容：

全科医学基礎理念（9月1日～5日）

全科医学と健康管理（9月8日～12日）

慢性病の管理と実践（9月15日～19日）

臨床と基礎技能トレーニング

（9月22日～27日）

専門家派遣：

日比紀文 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長（協会理事、医療協力事業運営委員会委員）が9月11日(木)～14日(日)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。協会職員の本田晶子事業担当が同行した。

講演：「日本の総合診療医のサービスモデル」

事業評価：

中国における全科医（総合診療医）の概念は日本とは全く異なっており、また、開業医が極一部しか存在しない中国における「総合診療」の在り方は今後も日本の体系にはならないと考えられるので、同学会事業としてこの総合診療研修を行っても日本との接点が見出しにくい。むしろ、短期診療技術・技能研修のような日本の優れた医療技術を伝えられる研修に重点を置くべきではないか。

・中日友好医院（北京市）

期 間：2014年11月17日(火)～12月14日(日)

受講者：17名

新疆ウイグル自治区、四川省、雲南省、河北省、河南省の県級病院、人民病院等に勤務する医師17名

研修内容：

講義を中心に全臨床科目を網羅

(2) 短期診療技術・技能研修

・産科救急：協和医科大学協和医院（北京市）

期 間：2014年7月13日(日)～19日(土)

実施責任者：

孫大為 協和医科大学協和医院婦産科
主任医師（10期生）

受講者：20名

チベット自治区・雲南省・甘粛省・寧夏回族自治区・四川省・新疆ウイグル自治区・重慶市・貴州省・青海省・広西省チワン自治区の二級病院・婦幼保健院の医師

研修内容：

受講者を産科、婦人科腫瘍、生育、婦人科の4つのグループに分け、病棟回診と講義を組み合わせ実施

専門家派遣：

星合 昊 大阪済生会富田林病院院長（協会理事）が7月17日(木)～19日(土)の日程で訪問し、事業評価を行った。協会職員の本田晶子事業担当と李高娃事業担当が同行した。

事業評価：

今回の産科救急研修には20名の中国内陸貧困地域の医師が参加し、学習意欲は非常に高いと感じた。中にはチベット族の医師もおり、言語環境、生活環境等異なる中で意欲的に学習していた。講義終了後も質疑応答を積極的に行い、研修終了後、上司、同僚に伝えるために綿密な記録を取っている姿が印象的であった。今回の事業が日本財団の支援によって行われていることが十分研修生に伝えられており、日本財団への感謝の念が度々伝えられた。研修内容につ

いては、初期臨床研修レベルの内容で、領域全般に涉っており、研修対象者のレベルに合った適切な内容であった。

・腹腔鏡：中南大学湘雅医院（長沙市）

期 間：2014年7月20日(日)～8月2日(土)

実施責任者：

李永国 湖南旺旺医院名誉院長（1期生）

受講者：9名

陝西省、山西省、遼寧省、吉林省、黒竜江省の主に二級病院に勤務する医師

研修内容：

基礎理論、機械手術トレーニング、モニター手術トレーニング、動物モデル、手術参加、手術の実践

専門家派遣：

日比紀文 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長（協会理事、医療協力事業運営委員会委員）と小倉直人 北里大学医学部外科学診療講師が7月20日(日)～23日(水)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。協会職員の太田晶子事業担当と茅野芽衣子事業担当が同行した。

講 演：「ERCP」「腹腔鏡下S状結腸切除術」

事業評価：

日本の派遣専門家は「ERCP」をテーマとした講演、日本の内視鏡手術の現状についての手術のビデオを交えたレクチャーを行った。研修医及び中南大学湘雅附属二院の医師は興味を持って清聴し、質問もあり活発な討論が行われた。研修医の技術レベルは均一でなく腹腔鏡手術をある程度行っている者、これから始める者がおり、示された日本の手術ビデオとは技術的に非常に大きな隔りがあるが、今回の講演・ビデオで研修医には最高峰の技術を示し、中南大学の医師には大きな刺激となり、今後につながる意義深い交流が実現できた。

・口腔実用：四川大学華西口腔医学院(成都市)

期 間：2014年11月16日(日)～29日(土)

受講者：10名

安徽省、湖北省、湖南省、江西省、広西チワン族自治区の県の2級以上の病院所属の歯科医師

研修内容：

口腔各臨床科の知識、消毒・感染症コントロール、医師と患者のコミュニケーションを講義・デモンストレーション・臨床操作等を組み合わせて実施

専門家派遣：

岡野友宏 昭和大学名誉教授(医療協力事業運営委員会委員)が11月15日(土)～18日(火)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。協会職員の金粉花が同行した。

講 演：「歯科医療における放射線：線量・人体影響・そして被曝低減」

事業評価：

本研修は歯科診療の全般をカバーする診療技術・技能研修であり、2週間にわたる講義と実習、診療見学で構成されている。今回は10名の歯科医師が参加し、学習意欲は非常に高いと感じた。受講者に対してレベルが高すぎるとの昨年度の反省を踏まえ、研修内容は、初期臨床研修レベルの内容で、領域全般に涉っており、受講者のレベルに合った適切な内容であった。研修地点である華西口腔医学院は欧米・日本と比較しても設備が整っており、臨床教育を行うには理想的な環境である。今後も日中笹川医学協力プロジェクトは継続的にここを研修拠点とすることが望まれる。

(3) 中長期臨床研修

期 間：2014年10月～2015年2月

受講者：8名 ※()内は研修医院/担当笹川生

消化器内科1名(西安交通大学医学院/張 軍, 11期生)、救急2名(新疆人民医院/李南方, 7期生)、看護2名(四川大学華西医院/胡秀

英、18期生)、内科2名(黒竜江中西医結合研究所/李顕筑、8期生)、産科1名(北京協和医院/孫大為、10期生)

概要:

専門分野の疾患の診断・治療方法を系統的に、指導講師(笹川生)より、マンツーマンで病気の診断や治療及び担当患者への対応を学び、新しい知識と最新の技術を習得した。

協和医院産婦人科の研修生・闫雪松は、所属する黒竜江省の病院で、婦人科領域の腹腔鏡手術を行いたいと希望し、研修に参加した。腹腔鏡手術が現地で実施できるようになれば、患者が100km離れた大規模病院に通院せず済む。研修後は学んだ技術を活かして、婦人科腹腔鏡の手術実施に向けて準備をしている。

新疆自治区人民医院の研修生2名が所属している病院は、高血圧患者が非常に多い地域であるが、治療・診察レベルに限界があった。今回の研修により、高血圧疾患の診察・治療レベルが格段に上がり、研修生は、研修を基礎に、高血圧の専門外来を開設する方向で進んでいる。

2) ボランティア診療

(1) 大規模診療

実施日:2014年11月29日(土)~30日(日)

場所:湖南省湘潭県

実施責任者:

李永国 湖南旺旺医院名誉院長(1期生)

参加者:350名(湘潭県の医師・看護師)

日本財団 尾形武寿 理事長

高木萌子 ソーシャルイノベーション本部公益チーム

吉田哲朗 監査部部长

胡一平 笹川平和財団笹川日中友好基金事業室主任研究員(通訳)

日中医学協会

安達 勇 理事長

太田晶子 医療協力事業担当

概要:

11月29日(土)

午前 中南大学湘雅第二院参観

湘潭県人民医院大会堂でセミナー

13:30~ 衛生庁・病院長挨拶

講演①「日本における緩和医療の現状」

安達 勇 日中医学協会理事長

講演②「高脂血症患者の生活改善指導」

趙秋利 第4期生

講演③「慢性B型肝炎の知識と治療の現状」

羅開忠 第30期生

講演④「JCI標準の看護レベルの指標による実務コントロール」

李 煉 湖南旺旺医院看護部主任

講演⑤「重篤患者治療における医師と患者のコミュニケーションについて」

李永国 第1期生

17:00 終了

11月30日(日)

湘潭県人民医院におけるカンファレンス及び病棟回診

セミナーにおいて質疑応答が活発に行われ、病棟回診とカンファレンスにおいて診療の標準を伝授することにより、プライマリ・ケアにおける人材育成に寄与した。

(2) 小規模診療

①実施日:2014年9月5日(金)~7日(日)

場所:黒竜江省ハルビン市五常県

実施責任者:

王喜軍 黒龍江省中医薬大学副学長(10期生)

団構成:

王喜軍(10期生)、劉麗(10期生)、李忠金(12期生)、程為平(21期生)、王有鵬(黒龍江中医薬大学第一附属医院副院長、小児科)、馮曉玲(黒龍江中医薬大学第一附属医

院産婦人科主任)、劉麗と程為平の学生である博士課程在籍者 5 名、計 11 名が参加した。

受診者：395 名

寄 贈：医薬品・医療器材 (25,000 元)

②実施日：2014 年 12 月 13 日(土)～15 日(月)

場 所：陝西省安康市流水センター衛生院

実施責任者：

楊林海 山西省児童病院小児科主任 (25 期生)

団構成：

王 琮(28 期生)、趙 平 (西安交通大学医学院第二附属医院消化内科)、和 平 (西安交通大学医学院第二附属医院呼吸内科) が参加した。

概 要：

診察、病棟回診、笹川生による講演

講演① 心筋梗塞発作時の救急治療

講演② 消化器疾患の診療と治療

講演③ 呼吸器疾患の診療と治療

講演④ 小児肺炎の診断と予防

当地医療従事者約 50 名が受講した。

受診者：197 名

3) 会員代表大会 (学術交流会) の開催

開催日：2014 年 9 月 13 日(土) 13:30～20:00

場 所：北京西藏大厦 B 座宴会厅 (北京市)

参加者：同学会理事、同学会北京会員、中国国家衛生和計画生育委員会、日本財団、日中医学協会等 117 名

挨拶：趙 群 中国医科大学学長、

同学会理事長 (10 期生)

王 立基 中国国家衛生和計画生育委員会国際合作司副司長

尾形武寿 日本財団理事長

安達 勇 日中医学協会理事長

講演①：「中国における高齢者サービスの動向と日本との協力」

王 振耀 北京師範大学中国公益研究院院長

講演②：「日本の高齢者政策に関する課題～官民の日中協力の在り方も見据えて～」

込山愛郎 厚生労働省保険局医療課保険医療企画調査室長

表 彰：同学会優秀会員表彰

特別貢献賞 (4 名)、功労賞 (23 名)

支 部：北米支部の創立、支部長任命書交付

中国国外に日本支部に続き 2 つ目の支部が発足した。

2014 年度学術交流会は、第 1 回会員代表大会として開催され、中国各省の理事及び日本とカナダから代表が参加して活発に活動提案が行われるとともに、北米支部設立宣言が行われ、これにより同学会支部は、中国国内 6 支部と日本支部、北米支部の計 8 支部となった。同学会活動のグローバル化が進展され、同学会のさらなる活性化が期待される。(p.9 学術会議共催事業参照)

4) 同学会事業監査

(1) 2013 年度事業監査

実施日：2014 年 4 月 26 日(土)

場 所：笹川同学会北京事務所

監査人：本田伸吾 日中医学協会事務局長

出席者：李忠金 同学会秘書長、

陳 怡 同学会会計担当、

李 洪 公認会計士

概 要：

2013 年度 4 月～9 月期の中間監査 (2013 年 10 月 15 日～18 日実施) 結果を踏まえて、2013 年度の会計監査を行った。

対象期間：2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日

「日中笹川医学協力プロジェクト実施要綱」、「日中笹川医学協力プロジェクト事業別実施要領」、「笹川医学奨学金進修生同学会に対する事業費送金および精算に関する覚書」に基づき、証憑書類及びその支出一覧表の照合を実施した。

2013 年度笹川同学会事業の会計決算は、概ね違反事項はなかった。要改善事項として

以下を指摘した。

- 1) 同学会運営費＞事務経費＞事務費（中国の会計基準では業務費）が北京事務所費で一本化されているが、以下の6分類とする（双方合意）。①光熱費、②交通手当、③事務消耗品費（備品含む）、④活動費、⑤ネットワーク管理費、⑥その他
- 2) 諸規程（会員規程、旅費交通費規程、謝金支給規程、報酬等の支給規程等）をより精緻に整備することが望ましい。また、優良な事項として以下が挙げられる。
 - 1) 公認会計士の起用により、事業別・支出年月日順のファイリングが著しく改善され、分かりやすい。
 - 2) 中国の会計基準が年々厳格化されていることを反映して、中日友好病院財務処のチェックが適切になされている。

(2) 2014年度事業中間監査

実施日：2014年11月3日(月)

場 所：笹川同学会北京事務所

監査人：本田伸吾 日中医学協会事務局長
浮ヶ谷紀子 財務会計担当、
茅野芽衣子 笹川同学会財務会計
窓口担当

出席者：李忠金 同学会秘書長、
呉久利 会計担当、
電話照会；李 洪 公認会計士

概 要：2014年度の同学会事業の進行状況の確認を行った。

2013年度決算で要改善事項（前述）とした「活動費」は支出内容（証憑書類）に照らし、旅費交通費、会議費、雑費に科目を変更し、旅費交通費は運賃、宿泊費、交通費補助、出張日当を計上することとし、これに従って科目の修正を行った。

その他、腹腔鏡研修等の科目修正を行った。

2. 経済産業省の医療の国際化に係わる事業

1) 医療機器・サービス国際化推進事業「中国における留学人材活用に向けた調査及びセミナーの実施」

(1) 留学人材の情報調査

A. 在日中国人医療関係者に対する調査

日本を拠点に医療活動・研究を行っている有力中国人医療関係者（在日医科大学同窓会・在日中国人生命科学協会等）にアンケート調査・ヒアリング等を行い、日本国内の留学人材をネットワーク化し、中国国内の留学人材のキーパーソン等の調査。

B. 助成財団・基金運営関係団体との連携

在留中国人研究者への助成を行っている企業・団体（大塚敏美育英奨学財団・東京生化学研究会等）と連携し、これまでの助成金受給者の調査。

C. 中国の医科大学・大学医学部・関係機関に対する調査

日本への留学者が多い中国の医科大学（中国医科大学、西安交通大学医学院等）等、中国の留学生関係機関をピックアップし、人材情報の共有、及びネットワーク構築への協力を依頼し、大学を拠点とした地域（例：東北・西北地域）の留学人材の情報（氏名・役職・専門等）を調査。

(2) 日本留学経験者交流会(留学人材セミナー)の開催

経済産業省の医療機器・サービス国際化推進事業の一環として、大阪大学医学部附属病院未来開発部国際医療センターの国際シンポジウム「Go Global14」（文部科学省推進事業）と合同で講演会・ネットワーキング（情報・名刺交換）を開催した。（p.9 学術会議主催事業参照）

日 時：2014年11月2日(日) 14:30～19:30

場 所：TKP 上海人民広場カンファレンスセンター（上海市）

主 催：日中医学協会、

大阪大学大学院医学系研究科国際・

未来医療学講座
大阪大学医学部附属病院未来医療開
発部国際医療センター

上海留日同学会会長
同濟大学地下空間研究センター
教授・副主任

共 催：経済産業省

後 援：在上海日本国総領事館

上海留日同学会

日本貿易振興機構(JETRO)上海代表処

協 力：大阪大学東アジアセンター

参加者：当協会法人会員をはじめとする現地

企業 65 社と日本留学経験をもつ医

療従事者、日本人留学生等 197 名

基調講演：「阪大発の未来医療を中国へ、

そして世界へ！」

澤 芳樹 大阪大学医学部附属病院

国際医療センター長

特別講演①：「日本医療の国際展開－日本

政府の取組み」

福元裕也 経済産業省商務情報政策局

ヘルスケア産業課課長補佐

特別講演②：「中国における医療機器産業の

現状と展望」

三村孝仁 中国日本商会工業第 3 部会

ライフサイエンスグループ長

テルモ(株)中国総代表

学術講演①：「循環器領域における国際化と

国際貢献」

角辻 暁 大阪大学大学院医学系研究科

先進心血管治療学寄附講座

特任准教授

学術講演②：「血管外科領域における日中医

学交流と国際貢献」

銭 水賢 上海交通大学附属第一人民医

院血管外科主任医師

上海留日同学会常務副会長

ネットワーキング：

来賓挨拶 彭 裕文

上海市欧米同学会、上海市留学

人員联合会常任副会長

乾杯挨拶 小原雅博 在上海日本国総領事

中締挨拶 束 昱

3. 専門家派遣事業

- 1) 日中笹川医学協力プロジェクトに係わる専門家の派遣 (p. 10～13 参照)

4. 医療関連訪日者招請事業

- 1) 医療関連訪日団招請

2014 年度は、4 件の訪日団の招聘や病院視察等の手配を行った。

- (1) 株式会社システム環境研究所招聘団

目 的：中国における医療・介護・福祉の連携の方向性及び施設整備指針の策定のため、日本の医療・介護福祉施設を視察。また、株式会社システム環境研究所が目的に対応するセミナーを開催した。

期 間：2014 年 4 月 14 日(月)～4 月 18 日(金)

訪問先：静岡県立静岡がんセンターほか

訪日者：譚暁岡（全国社会保障基金理事会境外投資部副主任）ら 5 名

- (2) 蘇州市立医院訪日視察団

目 的：日本の病院管理についての視察

期 間：2014 年 5 月 30 日(金)～6 月 3 日(火)

訪問先：大阪府済生会中津病院

訪日者：洪志成院長ら 6 名

- (3) 四川省衛生庁訪日視察団

目 的：日本の高齢者ケアの現状及び介護施設の視察

期 間：2014 年 9 月 30 日(火)

訪問先：介護老人保健施設ベレール向島

訪日者：欧力生 四川省衛生・計画生育委員会副主任ら 6 名

(4) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業
(さくらサイエンスプラン、科学技術振興
機構事業)

目的：アジア諸国から約 2,000 人の青少年
を短期に招聘し、科学技術分野にお
ける交流を深めることを目的に、
2014 年度から開始。招聘対象は、申
請時 40 歳以下で、原則として初めて
日本に滞在する者。

期間：2014 年 12 月 1 日(月)～12 月 7 日(日)

訪問先：東京大学医科学研究所、東京大学医
学部附属病院、東京女子医科大学
先端生命医科学研究、慶應義塾大学
医学部附属病院・予防医療センター、
国立国際医療研究センター、放射線
医学総合研究所、テルモメディカル
プラネックス見学、静岡県立静岡が
んセンター

訪日者：笹川同学会から推薦を受けた王恒
(四川大学華西臨床医学院／華西医
院看護学部修士課程研究生)ら 29 名

参加

期間：2014 年 8 月 27 日(水)～31 日(日)

研修者：封 巍 放療科副主任医師

(4) 清華大学玉泉医院派遣医師

目的：脳神経外科に関する情報交換

期間：2014 年 11 月 30 日(日)～12 月 3 日(水)

訪問先：東京大学医学部附属病院脳神経外科、
日本脳神経外科学会

訪日者：張玉琪 副院長

陳 琳 脳神経外科副主任医師

(5) 中日友好医院派遣医師

目的：研修

研修先：東京大学医学部附属病院

指導教官：瀬戸泰之 消化器外科教授

研修者：王文躍 胃腸外科主任

張国超 胃腸外科医師

期間：王医師 2014 年 12 月 14 日

～2015 年 1 月 13 日

張医師 2014 年 11 月 27 日

～2015 年 2 月 24 日

2) 中国人医療関係者招請・研修

2014 年度は、5 件の訪日者（個人）の視察・
研修・セミナー参加等の手配を行った。

(1) 中日友好医院派遣医師

目的：第 114 回日本外科学会定期学術集会
への参加

期間：2014 年 4 月 2 日(水)～4 月 6 日(日)

訪日者：姚 力 消化器内視鏡センター副主任

(2) 浙江省人民医院派遣医師

目的：研修

期間：2014 年 7 月 7 日(月)～18 日(金)

研修先：静岡県立静岡がんセンター

指導教官：小野裕之 内視鏡科部長

研修者：黄志剛 消化器内科副主任医師

(3) 浙江省腫瘍医院派遣医師

目的：第 52 回日本癌治療学会学術集会への

5. 訪中団派遣事業

例年、日中笹川医学協力プロジェクト：学術交
流会（p.9, p.13 参照）と併せて訪中団を派遣し
ていたが、2014 年度は学術交流会への協会役員
の派遣のみ実施した。

6. 日中乳幼児栄交流事業

日中両国関係の状況により昨年度に引き続き実
施を延期した。

エ 広報事業

1. 機関誌『日中医学』の発行

機関誌『日中医学』第 29 巻 1～4 号を以下の通り発行した。

第 1 号 (2014 年 5 月発行)

特集：「日中における口腔顔面形成・再建術の現状」

第 2 号 (2014 年 8 月発行)

特集：「日中における高齢者ケアと介護」

第 3 号 (2014 年 11 月発行)

特集：「PM_{2.5}による大気汚染と環境」

第 4 号 (2015 年 2 月発行)

特集：「日中における血液疾患診療」

※第 30 巻第 2 号より、特集テーマに関する研究報告の一般投稿を受付けることとした（日本語・中国語）。投稿原稿は広報委員会で査読し、内 1 編を『日中医学』に掲載する。

2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行

機関紙『NEWS LETTER』No.33～No.35 を以下の通り発行した。

No.33 (2014 年 4 月発行)

記事：「日中医学協会 2014 年度を迎えて」他

No.34 (2014 年 9 月発行)

記事：「日中笹川医学協力プロジェクト～中国国内研修事業～」他

No.35 (2014 年 12 月発行)

記事：上海「日本留学経験者交流会」他

3. 中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』のメール配信

中国の医療機関・医療関係者に機関誌『日中医学』の特集ページ（中国語部分）を約 1,000 名にメール配信した。

4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力

Sponsoring Organization として協力した。

委員会開催報告

1. 共同研究等助成事業委員会

1) 第 1 回委員会

日 時：2015 年 2 月 26 日(火) 16:00～17:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員 5 名、委任状出席 3 名

報告事項：

① 2014 年度助成事業に関する報告事項

審議事項：

① 2015 年度共同研究等助成事業選考

2. 医療協力事業運営委員会

1) 第 1 回委員会

日 時：2014 年 4 月 11 日(金) 18:00～19:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員 3 名、委任状出席 2 名

概 要：副委員長に酒谷 薫委員を選定した。

協議事項：

① 日中笹川医学協力プロジェクト

・2014 年度事業に向けての修正・改善点について

・奨学金事業の事業内容について

② 2014 年度経済産業省委託事業について

③ 経済産業省の受託事業内容について

④ その他協力事業

・内視鏡早期癌診断受入れ事業について

・中国透析サービス事業について

2) 第 2 回委員会

日 時：2014 年 7 月 11 日(金) 18:00～19:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員 5 名、委任状出席 2 名

協議事項：

① 2014 年度日中笹川医学協力プロジェクト

・笹川同学会事業(専門家派遣、事業監査)について

・笹川奨学金事業(事業内容、第 37 期生募集・選考の協力体制)について

- ② 2014年度経済産業省委託事業の事業実施について
- ③ 日中消化器内視鏡診断治療指導医育成プロジェクトの進め方について

3) 第3回委員会

日 時：2014年10月28日(火) 17:00～19:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員5名、委任状出席2名

協議事項：

- ① 日本財団への2015年度予算申請
- ② 2015年度日中笹川医学協力プロジェクト実施体制

4) 第4回委員会

日 時：2015年3月16日(月) 18:40～19:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員4名、委任状出席2名

協議事項：

- ① 日中笹川医学協力プロジェクト
・2014年度同学会事業評価及び2015年度同学会事業支援方法について
- ② 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクトの運営方法について

3. 広報委員会

1) 第1回委員会

日 時：2014年6月11日(水) 18:00～19:30

場 所：学士会館309号室

出席者：委員8名、委任状出席3名

協議事項：

- ① 『日中医学』VOL.29 NO.4、VOL.30 NO.1の掲載記事について
- ② 『NEWS LETTER』NO.34の掲載記事について
- ③ 『日中医学』特集記事の文献検索サイトへの登載について（意見交換）

2) 第2回委員会

日 時：2014年10月8日(水) 18:00～19:30

場 所：東京ガーデンパレス 橘の間

出席者：委員9名、委任状出席2名

協議事項：

- ① 『日中医学』VOL.30の特集テーマ・掲載内容について
- ② 『日中医学』特集記事の執筆要領（案）、投稿規程（案）の検討
- ③ 『NEWS LETTER』NO.35の掲載記事について

3) 第3回委員会

日 時：2015年2月3日(火) 18:00～19:45

場 所：東京ガーデンパレス 橘の間

出席者：委員9名、委任状出席2名

協議事項：

- ① 次期広報委員会委員について
- ② 『日中医学』－協会設立30周年記念行事特集号－発行について
- ③ 『日中医学』特集記事の執筆要領（案）、投稿規程（案）の検討
- ④ 『NEWS LETTER』NO.36～38の発行時期・掲載内容について
- ⑤ 日中医学協会ホームページのリニューアルについて
- ⑥ 日中医学協会事業紹介パンフレットのリニューアルについて

総務報告

I. 財務基盤の拡充につて

A. 会員拡大と募金活動

会員数の推移

	14年3月 末現在	2014年度 入退会	15年3月 末現在
名誉会員	7名	入会 0名 退会 0名	7名
個人会員	471名	入会35名 退会34名	472名
法人会員	67社	入会 4社 退会 1社	70社
特別会員	3社	入会 0社 退会 0社	3社

募金活動

一般寄付金・年末寄付金

団体・法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した研究助成事業、医療協力事業、広報事業等及び法人会計に充当した。

- 1) 一般寄付金 合計 1,000,000 円
 - a. 団体・法人 1社 計 1,000,000 円
- 2) 一般寄附金(年末寄付金) 合計 400,000 円
 - a. 団体・法人 2社 計 110,000 円
 - b. 個人 19名 計 290,000 円
- 3) 特別寄附金 合計 8,683,000 円
 - a. 団体・法人 1社 計 8,683,000 円

B. 日本財団に対する助成金申請

2015年2月17日付で2015年度助成金申請に対する助成金交付決定及び審査結果の通知があった。

①日中笹川医学協プロジェクトに対する助成

助成金額 60,000,000 円

②基盤整備事業

助成金額 31,430,000 円

①+②計 91,430,000 円

C. その他事業の検討

2013年度に引き続き「日中医学協会のあり方検討委員会」で検討した。

日中医学協会のあり方検討委員会

1) 第4回委員会

日時：2014年4月9日(水) 15:00～17:00

場所：協会事務所会議室

出席者：委員等6名

議事：

- ① 「第1回～第3回委員会の討議」を踏まえ、協会のあり方イメージについての検討及び中国国家衛生和計画生育委員会傘下の国際交流与合作中心（以下、国際交流中心）へ事業構想を打診した「医療の国際化事業に関する提案」、「内視鏡早期胃癌診断治療研修事業」などについて検討した。

2) 第5回委員会

日時：2014年5月21日(水) 15:00～17:00

場所：協会事務所会議室

出席者：委員等5名

議事：

- ① 第1回～第4回委員会の討議を踏まえ、中間報告書を取りまとめた。
- ② 中国における医療アクセスの改善に係るIMCI（小児疾患統合管理）トレーニングの事業性について検討した。

3) 第6回委員会

日 時：2014年7月24日(木) 16:00～18:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員等6名

議 事：

- ① 中間報告書の第5頁「今後の展開」について総合的に検討した。

4) 第7回委員会

日 時：2014年9月11日(水) 15:00～16:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員等5名

議 事：

- ① 外部リリース用の「日中医学協会一日中両国民の未来志向のために－新しい事業展開」を取りまとめた。
- ② 「日中医学協会一日中両国民の未来志向のために－新しい事業展開」を用いて外部説明を行った。
 - ・ グローバル・ヘルスと人間の安全保障プログラム運営委員会で発表（尾身委員長）
 - ・ 学会等各界への「日中医療交流推進連絡会議」委員の就任要請のための説明資料として用いた

【日中医学協会のあり方検討委員会】

委員長 尾身 茂 理事
委 員 江藤一洋 業務執行理事
〃 近藤達也 理事
アドバイザー 高久史磨 副会長（理事）
〃 林 謙治 業務執行理事
〃 庄田 隆 評議員
アドバイザー 安達 勇 理事長

II. 協会運営に係る事項

A. 委員会の改廃及び名称変更

1. 事業計画・財務委員会の廃止

委員会の機能を常任理事会に吸収した（公益第4回理事会決議）。

2. 委員会の名称変更

「日中笹川医学協力プロジェクト及びその他医療協力事業運営委員会」を「医療協力事業運営委員会」に名称変更した（公益第4回理事会決議）。

3. 委員会委員の補充選任

以下の委員を補充選任した（公益第4回理事会決議）。

1) 共同研究等助成事業委員会

今井 裕 獨協医科大学医学部口腔外科学教授
日本歯科医学会副会長

松村英雄 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ教授
日本歯科医学会副会長

2) 広報委員会

飯塚陽子 東京大学医学部附属病院糖尿病・
代謝内科助教

新谷誠康 東京歯科大学小児歯科学主任教授

3) 医療協力事業運営委員会

林 謙治 国立保健医療科学院名誉院長

4. 委員会委員任期

各委員会委員の任期は、第1回理事会において2013年4月1日～2014年3月31日と決議されたが、委員会規程の任期2年に合わせて1年間延長し、2015年3月31日までとした（公益第4回理事会決議）。

上記3.の補充選任委員の任期は2015年3月31日までとなる。

B. 公益事業の拡充に係わる検討

日中医学協会のあり方検討委員会で検討した
(p. 19 C. 「その他事業の検討」参照)。

Ⅲ. 協会設立 30 周年記念事業

2015 年 9 月で財団設立 30 周年を迎えるにあたり、公益第 7 回 (第 240 回) 常任理事会において同年 10 月 30 日に 30 周年記念行事を開催することが決定した。これに伴い、30 周年記念事業ワーキンググループを発足し、行事内容や講演者、事業予算、記念事業寄附金募金等について検討した。

1) 第 1 回ワーキンググループ

日 時：2015 年 1 月 22 日(木) 18:00～20:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員等 5 名

議 事：

- ① 記念行事の規模や骨子について検討し、記念式典、シンポジウム、レセプションを開催することが決定した。また、日中医学協会のあり方検討委員会での検討結果を踏まえ、シンポジウムの構成について協議を行った。

2) 第 2 回ワーキンググループ

日 時：2015 年 2 月 16 日(月) 18:00～20:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員等 5 名

議 事：

- ① 全体プログラム、記念シンポジウムテーマ、講演者、事業予算、記念事業寄附金募金等について検討し、検討結果を第 6 回理事会に答申した。

【協会設立 30 周年記念事業ワーキンググループ】

委員長 林 謙治 業務執行理事

委 員 庄田 隆 評議員

〃 日比紀文 理事

〃 星合 昊 理事

別紙 日中笹川医学奨学金制度第 36 期研究者名簿 (2014 年 5 月～2015 年 4 月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
	研究テーマ		
権 伍勇	厦門長庚医院眼科・主治医師（講師） 白内障の手術治療	筑波大学医学医療系眼科学	大鹿哲郎 教授
陳 覓	貴陽医学院附属医院麻醉科・住院医师（研修医） 鎮痛薬の作用機序	群馬大学大学院医学系研究科麻醉神経科学	齋藤 繁 教授
張 文静	山東省血液中心血型参比研究室・主治医師（講師） 腫瘍の分子病理学的研究	東京大学医科学研究所癌・細胞増殖部門分子発癌分野	村上善則 教授
劉 志紅	中国医科大学附属第一医院急診科・主治医師（講師） 糖鎖や核酸など非タンパク抗原への抗体産生のメカニズムの解明	東京医科歯科大学難治疾患研究所難治病態研究部門免疫疾患	鏑田武志 教授
周 顕鳳	江西省南昌市疾病予防控制中心微生物科・検査技師（助教） E型肝炎ウイルスの疫学及び分子生物学の研究	国立感染症研究所ウイルス第二部	李 天成 主任研究官
蔡 璐璐	電子科技大学臨床医学院四川省人民医院薬学部助理研究員（講師） 長期血中滞留性リポソームを用いたパクリタキセルの腫瘍部位へのターゲティング	京都薬科大学薬剤学	山本 昌 教授

役員等名簿（五十音順）

評議員	池田 裕	磯子中央病院名誉院長
〃	石井 正三	日本医師会常任理事
〃	石館 光三	東京生化学研究会常務理事
〃	一戸 達也	東京歯科大学副学長
〃	稲葉 裕	順天堂大学名誉教授
〃	緒方 剛	茨城県筑西保健所所長
〃	金井 隆典	慶應義塾大学教授
〃	黒川 顕	日本医科大学武蔵小杉病院院長
〃	洪 愛子	日本看護協会常任理事
〃	杉山 清	星薬科大学副学長
〃	庄田 隆	第一三共株式会社相談役
〃	曾根 智史	国立保健医療科学院企画調整主幹
〃	高橋 和久	順天堂大学教授
〃	高松 研	東邦大学医学部長
〃	寺本 明	東京労災病院院長
〃	中島 信也	日本歯科医師会常務理事
〃	根本 則道	日本大学教授
〃	範 江林	山梨大学教授
〃	藤原 英憲	日本薬剤師会常務理事
〃	山口 建	静岡県立静岡がんセンター総長
〃	山田 陽城	東京薬科大学特任教授
会 長（代表理事）	森岡 恭彦	日本赤十字社医療センター名誉院長
理事長（代表理事）	安達 勇	静岡県立静岡がんセンター参与
副会長	大久保満男	日本歯科医師会会長
〃	坂本 すが	日本看護協会会長
〃	住友 雅人	日本歯科医学会会長
〃	高久 史磨	日本医学会会長
〃	山本 信夫	日本薬剤師会会長
〃	横倉 義武	日本医師会会長

理事 池谷田鶴子 順天堂大学国際交流センター運営委員
〃 江藤 一洋 アジアデンタルフォーラム理事長
〃 大柳 治正 近畿大学名誉教授
〃 小川 秀興 順天堂理事長
〃 尾身 茂 地域医療機能推進機構理事長
〃 木村 政之 日本製薬団体連合会理事長
〃 近藤 達也 医薬品医療機器総合機構理事長
〃 酒谷 薫 日本大学教授
〃 篠崎 英夫 日本公衆衛生協会理事長
〃 高久 史麿 日本医学会会長
〃 田平 武 順天堂大学客員教授
〃 橋本敬太郎 山梨大学名誉教授
〃 林 謙治 国立保健医療科学院名誉院長
〃 日比 紀文 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長
〃 平岡 眞寛 京都大学教授
〃 星合 昊 富田林病院院長
〃 松原 謙二 日本医師会副会長
〃 武藤徹一郎 がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長
〃 森山 紀之 国立がん研究センター客員研究員

監事 金井 淨 公認会計士
〃 杉本 恒明 関東中央病院名誉院長

顧問 趙 群 中国医科大学学長
〃 山本 續子 日本女医会会長

2014年度事業報告附属明細書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2015年5月13日
発行人 安達 勇

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3住泉KMビル6階